

ロジスティクス研究会
ファックス通信
題字 浅井時郎東ト協名誉会長
インターネット・ホームページ
URL http://www.totokyo.or.jp/
e-mail : sounenbu@tta.ne.jp



(社)東京都トラック協会
編集人 鈴木 貢
東京都新宿区四谷3丁目1番8号
TEL. 03-3359-4137
FAX. 03-3359-6020

～安全と安心の実現～

2009年1月30日発行 1月号 No. 168

本部長 竹内 政司 多摩支部〔竹内運輸工業(株)〕 ◇ロジ研壮年部長随想リレー

明けまして、おめでとうございます。
今年も天候に恵まれ、穏やかでとても良いお正月を迎えられたことと思います。はじめに、こうして皆さんと一緒に、新しい年を迎えられましたこと、とても嬉しく思っています。昨年一年間の皆さんの協力と、そして貢献に、心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。この新しい年、心新たに、皆で、良い年にしていきたいと思しますので、更なるお力添えをお願い致します。
さて、今年は「うし年」。2009年(平成21年)の干支は正確には、己丑(つちのと うし)と言います。この「己丑」(つちのと うし)には「混乱しているものを正し、どっしり構えつつ、新しい方向へゆったり歩き出す」という意味があり、将来の飛躍に備えるべき年ともいえそうですが、言い換えると今は混乱していて飛躍に備えるための「我慢の年」とも捉えることができ、どうも大変厳しい年になりそうです。

今、アメリカのサブプライム問題に端を発した金融不安は、世界中を巻き込んで国際金融市場は深刻な危機に直面しているといわれています。歴史的な原油・穀物・鉱物といった一次産品市場の乱高下、世界各国の株価の暴落は、ついには実体経済の急激な悪化へと局面を移し、世界同時不況の様相が強まってきています。この金融危機の状態をFRB＝アメリカ連邦準備理事会＝のグリーンズパン前議長は「我々は100年に一度の信用危機の津波の真ただ中にいる」と表現し、また、一部マスコミも「1929年の大恐慌以来の経済危機だ」と報じています。もちろん、日本もその渦に巻き込まれてしまいました。平成14年1月から続いてきた戦後最長と言われた景気拡張局面も終わりを告げ、急激に進んだ円高は輸出産業に大打撃を与え、輸出依存で景気を牽引してきた日本経済は景気減速の傾向が明らかとなり、政府はついに12月の月例経済報告で「景気は悪化している」との判断基準を示しました。企業はついに雇用調整に入り、それによる非正規労働者の解雇などがすでに表面化し、社会問題化してきています。

09年の見通しはまったく不透明で、過去のデータの延長でしかない経済予測から今後の景気回復のシナリオを描くことは難しいと思われます。仮に描いたとしてもそれがその通りになるとは限りません。世界経済がどのようになっていくか、日本経済がどうなっていくか、大変気になるところではありますが、一つだけいえることは、「国家は国を守りますが、国民一人ひとりの生活までは守りきれない」ということです。今までお世話になり、何十年も一緒に仕事をしてきたお得意様も経済環境の激変や業績いかんで、いとも簡単に取引の継続を打ち切ることがあることを、再認識して下さい。

だからこそ、いま我々がやらなければならないことは、厳しい時代だからこそ安全・安心の輸送サービスを確立し、どんなことがあっても今の事業をやり抜き、やり遂げるのだという想いが必要だと考えます。協会が進めるドライブレコーダの装着により、安全な輸送を通じ、社会に安心を提供すること。キャッシュフローに常に目を光らせ、原価計算ソフトを活用し自社の収益を明確に掴み、経営の効率化に努め、生産性の向上に取り組むこと。安全と安心の実現には、逆風の中でも必ず生き残るのだという強固な意志と覚悟が重要だと思います。

どんなに厳しい状況になろうとも、不撓不屈、自主独立の精神を一人ひとりが持ち続け、常に「安全は全ての作業に優先すること」、「高い輸送品質を維持継続してお客様に提供すること」、そして「環境に配慮した運行を行うこと」、という価値観を我々の共通の認識として持ち続けることが必要です。そして会社はもちろんそこに働く一人ひとりが、どんな価値が社会や顧客から認められ存在し続けているかを常に意識することだと思います。変わることができるのは自分自身であり、変えることができるのは自分であることを信じ、自分達の未来は、自分達の手で守り、切り開いていく気概を持って、この難局の時代を乗り切って行こうではありませんか。

今年も宜しくお願い致します。

◇お知らせ《行事予定》

02/ 4(水) 新宿京王プラザビル4階「花」
17:30～ 三組織合同セミナー
19:00～ 三組織合同新年会

○ロジ研フォーラム 3月19日(木)東ト総合会館7階大会議室
前回12月号のひびきでは3月4日でご案内しておりましたが、ご迷惑をおかけしますが変更させていただきます。是非ご予約をお願いします。

新宿支部壮年部長 飯島 光幸〔(有)トワ・デ・リバー〕

「昭和のこと」
生まれは本所緑町、育ちは牛込山伏町、緑あって地元を本拠に稼働しております。

私の住む新宿区は人口約三十万人、そのうち一割が外国人登録であり、様々な国の人がそれぞれの生活に勤しむ地域となっている。

主な通りは、東西に大久保通りと外堀通り、南北に明治通りと外苑東通りがあり、その昔は江戸五宿の一つ、内藤新宿(御門外)であり、甲州・青梅街道への分岐点として、江戸より第一宿の賑わいをみせていたという。

大木戸より御附内は四谷・牛込を中心に武家屋敷や商家により構成され現在でも住宅地としてその名残が町名などにある。

少年期の思い出は、夕焼け・焼け野原・下駄・ランニングシャツ・つぎはぎの半ズボン、遊び場は、お堀・御苑・戸山練兵場跡箱根山等々であり、近所の中学生を中心に小学生や幼稚園児までが一集団となりいつも一緒に行動をしていた。

一・二・三番濠で一日中魚やザリガニ取りをし、五の日には神楽坂に立つ(外濠より大久保通りまで)縁日で10円玉を汗ばむほど握りしめ、やっと買った駄菓子を毘沙門様の境内にて皆で分け合って食べていた。

交通は都電13番線、(水天宮から新宿車庫)省線への連絡に重要な手段となっていた。

戦後、光は新宿から、を合言葉に西口や東口にあった闇市よりめざましい復旧を成し遂げた後、オリンピック・都庁移転へとつながり現在にいたっていると聞く。

コマ劇場の開設は繁華街として拍車をかけ、その周りには歌声喫茶や飲食店がひしめき、時代の先端と憂いを一身にしょっているようなインテリらしき若者たちでいっぱいだった。

業界では南口貨物引き込み線より、荷馬車や大八車による麦酒輸送や、大手印刷・出版会社よりの印刷物輸送で活気にみちていた。

馬曳きの人は大型貨物に、大八車やリヤカアの人は小型貨物に、それぞれ主力とし、現在に至っていると思う。

さて、今業界は大変な過渡期にあると思うが、あの頃の活気ある先輩達の笑顔を思い浮かべ、原点を思い、運送屋は運送屋、ピンチはチャンスと頑張りました。

《百文字のひろば》

多摩支部 岩間 大〔岩間トランスポート(株)〕

先日、吉祥寺駅をぶらついていたら、中古の携帯電話を販売している店を発見しました。

店員さんに話を聞いたところ良く売れていますとの事。最近は新品の値段もかなり高価になっている様で、私も2台目の携帯電話に購入を考えています。皆さんもいかがですか？

◇ロジ研スキルアップ研修を受けて

研修副委員長 山田 正信〔足立支部(株)森田商運〕

第一回から第三回目のセミナー研修を受けた受講者の感想の中で、実際にMG(マネージメントゲーム)を体験したいとの要望が多数あったため、(有)プラスワンさんのご協力でロジ研スキルアップ研修と言う形で実現する事が出来ました。

内容は2部構成で、第一部がMG研修で朝9:30～午後4:30まで(昼食時間30分)、その後、第二部は元日本テレビアナウンサー山下講師による講義を約1時間受講しました。

第一部の内容はMG(人生ゲームと麻雀をミックスさせた様な・・・例えば下手で申し訳ありませんが、とにかく難しいが面白い)を一巡させ、その結果を自ら決算書に落とし込み、自分の商売(戦略)結果を分析する。これを2期(二巡)執り行い、参加者全員が夢中になり長時間に及ぶ(7時間)研修を一瞬の感覚で終了する事が出来ました。

また、第二部は山下講師による日テレ時代の秘話、そして、全員がいきなり違った例題を提示され、2分程の時間で例題にそった話題を発表する。その上で講師による会話のノウハウを参加者全員、個別に伝授して頂きました。

長時間では有りましたが、一部二部を通して内容の濃い研修内容を受講者全員が満足出来たスキルアップ研修であったと思います。